

大切な 甲賀市の自然 ⑫

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

ガマ合戦はいずこに? ヒキガエル



▲ ヒキガエル(甲賀市にはアスマヒキガエルとニホンヒキガエルの記録がある)



▶ 甲南町の休耕田で発見されたヒキガエルの卵(ヒモ状の寒天質の袋に多数の卵が入っている)

「ガマガエル」を知っていても、どんなカエルが思い浮かぶ人は少ないようです。正確な名前は『ヒキガエル』で、茶色い大型(体長15センチ前後になる)のカエルです。ジャンプせず、お腹を引きずりそうに歩く姿はなかなかユーモラスです。また、天敵から身を守るために、目の後ろ辺りから毒液を出しますが、この毒成分を含む「がまの油」は、傷口に効く薬として昔から有名です。さらには、春に小さな池に多くの親ガエルが集合し、騒々しく交尾・産卵する様子は“ガマ合戦(蛙合戦)”と言われました。

このように、人の生活に大変身近なカエルでしたが、滋賀県の平野や丘陵地では、その姿は非常に少なくなり(滋賀県レッドデータブックの“希少種”)、実際のガマガエルを知らない人が増えました。甲賀市内でも、人里はなれた山奥の水たまりなどに、ヒモ状の卵の塊が見られますが、ガマ合戦といえる程のカエルはいない様です。土山の溪流にはナガレヒキガエルという別の種類がすんでいます。

4月の
休園日

2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は甲賀町文化協会からお寄せいただきました。

次号(5月1日号)は、あいの土山文化協会の予定です。

- 甲賀川柳 井上 謹三 選**
- ・ 復党もみんなで渡れば怖くない
 - ・ 猪が俺の年だと校庭へ
 - ・ 卒寿来て風化に耐えた足と腰
 - ・ 自分史を挨拶にいう年になり
 - ・ 四世代餅の食へ方四種類
 - ・ 鬼は外ヒシヤと閉めるきつい音
 - ・ 猪猛進前途不安の日本国
 - ・ 鬼コーチ試合が済めばお人よし
 - ・ 絵馬札の数だけ願い並んでる
 - ・ マンションの眼下で風は悔しがり

- 瀬古 一郎
- 奥山 康雄
- 藤橋阿さ江
- 衆田 次雄
- 隠岐 信子
- 藤橋 淑子
- 北川 溪舟
- 山下きよの
- 岡本みつ子
- 木下恵美子

- 鹿深句会 桑田 美智子 選**
- ・ 詠讃歌弥陀に届けと初奉納
 - ・ 六回の亥年を迎ふ初詣
 - ・ 面影を墓前に偲ぶ雪の朝
 - ・ 青い空引き寄せ高き冬木立
 - ・ 朝市のくりくり赤き寒卵
 - ・ 湖風で三々五々と小白鳥
 - ・ 蠟梅に溶け落ちそうな日差しかな
 - ・ 近江富士車窓に拝し初電車
 - ・ 朗々と響く祝詞やお元日
 - ・ 若水やつるべの音も軽やかに

- 大北 のぶ
- 山下 美幸
- 茂田 悦子
- 堀 小夜子
- 松島 初江
- 前田よしゑ
- 藤縄よしみ
- 山下 淑子
- 林井 道乃
- 東 美智代

- 甲賀町俳句同好会 北川 溪舟 選**
- ・ 日脚伸ぶ花屋の前は人だかり
 - ・ 隠し湯のぬるま湯にひとり日脚伸ぶ
 - ・ 父鴨が威儀を正して先を行く
 - ・ パート妻帰り明るく日脚伸ぶ
 - ・ 水鳥の散りて牙刺く波がしら
 - ・ くしゃみ出る人前こらえる苦しさよ
 - ・ 生かされてくしゃみ二つではげまされ
 - ・ 老いどちのグランドゴルフ日脚伸ぶ
 - ・ 時刻む一秒毎に日脚伸ぶ
 - ・ 嘔して薬の粉を飛ばしけり

- 広岡 久男
- 村山多喜栄
- 堅田八重子
- 中島 節子
- 森地千恵子
- 藤橋 淑子
- 増井 竹史
- 立岡 久女
- 松島 芳子
- 立岡きさえ